

齋藤十郎 G E A 会長主催者挨拶

「平成15年度 GEA 地球環境国際会議 開会式」

平成15年10月24日(金)

本日は、皇太子殿下・同妃殿下のご臨席を仰ぎ、又、小泉内閣総理大臣はじめ、国内外から多数の方々のご出席を得て「GEA 地球環境国際会議」を開催できますことは、誠に光栄であり、この上ない喜びでございます。主催者を代表して厚く御礼申し上げます。

世界各地で、また、様々な分野で、人類共通の課題である地球環境問題の解決に真摯に取り組んでおられる皆様が、本日、この会議にお集まりくださいました。日頃の皆様のご活躍に深く敬意を表しますとともに、心より歓迎申し上げます。

20世紀は、二度の世界大戦を経験するなど戦争の時代でもありましたが、科学技術の驚異的な発達に支えられて、多くの人々が健康で豊かな暮らしを享受できるようになった時代でもありました。しかし、その一方で、貧富の格差は世界的な規模で拡大しつつあり、限りある天然資源は増加しつづける人口に対応していけるかどうか、人類の未来に対する大きな課題に直面しています。

この課題を解決する基本は、「人々の心」にあると思います。多様な価

値、多様な文化、多様な生活様式、自然界における多様性を尊重するのと同じように、人類社会においても社会、文化の多様性を尊重しながら、その上で、人類共通の課題に取り組んでいくことが大切だと思います。

私たち、地球環境行動会議は、今は亡き竹下登総理大臣が、地球サミット事務局とともに、1992年に国連環境開発会議の準備のために開催した「地球環境賢人会議」を契機に発足いたしました。その後も、国連持続可能開発委員会とともに国際会議を開催し、人類の将来に対する様々な提言を発信してまいりました。

昨年9月に南アフリカのヨハネスブルクで開催された「持続可能な開発に関する世界サミット」では、2005年からの10年間を「持続可能な開発のための教育の10年」とすることが採択されるなど多くの成果がありました。今回の会議は、世界サミットの成果を受けて、「教育」、「IT」、「天然資源」をキーワードに、「持続可能な未来」を実現するための具体的な指針を示したいと考えています。

今回の会議での皆様方の議論の成果が、持続可能な未来を実現する指針となることを、強く期待しております。また、今日から三日間の会議を通じて、参加された方々の間に、あらたなパートナーシップが築かれますように祈念致しまして、私のご挨拶と致します。

ありがとうございました。